

- 13) 参加者の装備
 ①ドライバーの服装は、長袖・長ズボンを着用しなければならない。
 また運転中以外でも、作業時には必ず着用しなければいけない。
 (耐火性のドライビングスーツやグローブ、シューズを着用することを強く推奨する)
 ②ヘルメットはフルフェイスタイプもしくはジェットタイプ。
- 14) 走行内容
 ・各レースクラス
 【SB、SS、アルトワークストロフィー、NA660選手権、コペントロフィー、S660トロフィー】
 フリー走行(20分)、予選(15分)、決勝レース(10分)
 ※NA660クラスのみ、悪天候の場合クラス毎の集団によるクラス隊列式のローリングあるいはスタンディングスタートを行います。
 ・タイムトライアルクラス：20分×2本のタイムトライアル
- 15) スタート方法：予選結果にもとづくグリッドスタートする。
- 16) ピット使用に関して、ならびにその他お願ひ
 ・各チーム指定の割り当てられたパドックに車両を停めてください。
 ・PITは競技中のみ使用可能。使用PITは大会当日発表します。
 ・PIT数に限りがある為、1PITにつき複数チームでご利用下さい。(PITの独占は禁止です)
 ・PIT及びプラットフォーム内の禁止事項は遵守してください。(傘の使用や、飲食等は出来ません)
 ・パドック内にてBBQ等火気を使用する場合は、スポンサーブースエリアをご利用下さい。
 (利用料等については、事務局へお問い合わせ下さい)
- 17) 賞典
 各クラス上位3台
- 18) キャンセルに関して
 申込後のキャンセルは一切お受け出来ません。
 また、次回繰越対応も致しかねますので、ご了承ください。
- 19) レイトエントリーに関して
 募集枠に空きがあるクラスに限り追加募集を致します。その場合は、エントリー代金に¥3,000-(税込)が加算されます。
- 20) 安全遵守事項
 ①必ずドライバーズブリーフィングに本人が参加する事。
 (参加されない場合は、走行をお断り致します)
 ②走行に適した健康状態で参加し、走行中は常にお互いの安全を考慮した協調的マナーのもとに、自己の技量とコース状態に適した速度で走行する事。また、危険とみなされる行為を行ってはならない。
 ③場内施設を破損した場合は、復旧に要する費用を実費お支払頂きます。タイヤバリア等も含んでおります事あらかじめご了承ください。
 ④ピット内での喫煙は禁止です。必ず所定の場所で行ってください。
 ⑤トラブルや時間の関係上スケジュールが変更になる場合があります。
 ※雨天決行ですが、当日の雨量により周回数を減算する場合があります。
- 21) 再車検
 NA660選手権のみレース終了後、上位ゴール車両については再車検を行う場合があります。車検員は、上位3人のドライバー&チーム立会にて、自車両以外のほか2台をチェックします。
 ※事務局が指定したチーム代表やスタッフにもお手伝いを頂く場合があります。

NA660選手権・車両規定

■概要

1. ナンパ一付き車両限定
 維持費の安いK-CARのメリットを、最大限に活用。レースや練習のたび積載車を借りるよりも、結果的にコストを抑えられることを考えております車検を取得していない車両の場合は、以下の車両規則に従い、公道を走行出来る状態と同等な仕様でなければならない。
2. タイヤ
 Sタイヤは摩耗が早く価格も割高、さらに路面コンディションによりコンパウンドを変えなければいけません。そこで全クラスともラジアルタイヤ限定とし、参戦費用が抑えられることを考えております。
3. エアコン
 通勤をはじめとした街乗りに使用するオーナーが大半と思われまます。そこで快適性を大きく損なう事となる、エアコンを外すことは禁止とします。
4. 車種ごとの改造範囲の特例
 車種ごとに走行性能が大きく異なる場合は、車種ごとにファイナルギアの変更を特例で認めるなど、シーズン途中であっても導入する場合があります。

■エンジン系

1-1: エンジン本体

純正部品の旋盤加工/溶接/研磨など機械加工は禁止。ピストンは純正スタンダードサイズに限り使用でき、排気量アップは認めない。カムシャフトなど部品の変更も同様で、同一エンジン型式の純正部品に限って使用を認める。またエンジンを載せ替える場合は、車検証上で同一型式(構造変更が必要ない場合)であれば気筒数に関係なく認められる。ブローバイガス還元装置のホースを吸気系から取り外す場合は、排気量と同等以上の容量があるキャッチタンクを必ず取り付け、大気開放は禁止とする。

1-2: フライホイール

- ①④クラス：加工や変更を認める。
- ②③クラス：加工や変更を禁止する。

1-3: エンジンマウント

エンジンマウントは市販品に限り変更を認める。ただしエンジンマウント位置の変更、エンジンマウント本体の加工は認められない。樹脂などを注入する程度の補強は認められる。

1-4: ラジエーター関連

ラジエーター、サーモスタット、ラジエーターキャップ、ラジエーターホースの変更は認められる。水温計センサーを取り付けるための、ラジエーターホースへの加工も認める。ラジエーターファンを強制的に作動させる、ON/OFFスイッチの装着もクラスを問わず可能。

1-5: オイルクーラー関連

オイルクーラーの装着は認められるが、フィルターを移動する場合は安全な位置でなければならない。油温計や油圧計のセンサーを取り付ける加工、オイルパンの容量アップやパッフル加工も安全であれば認められる。

1-6: バッテリー

バッテリー位置の変更は認められるが、重量に耐えうる台またはホルダーを使い、確実に固定すること。室内に移動する場合は、ドライバッテリーを除き金属板で隔壁しなければならない。容量および取り付けブラケットの変更も可能だが、ボディにアースされていない側の端子(+)は短絡を避けるため、確実な方法で絶縁すること。

1-7: ECU

- ①④クラス：フルコンを含めて変更が認められる。
- ②クラス：燃調コントローラーとスピードリミッターを解除するための簡易的な製品のみ装着を認める。点火時期やレプリミットなど燃調以外を変更できる製品や、コンピューターに接続しデータを書き換えできる製品は認めない。
- ③クラス：スピードリミッターカットを解除するための製品のみ使用できる。
 ※電子スロット車両のスロットルコントローラーについて
 クラスを問わず使用できる。
 ※ECUの封印について
 規則を一部簡素化すること等を目的とし、ECUの封印は行いません。

1-8: 点火系

- ①②④クラス：ハイテンションコードやプラグの変更、アーシングなど点火系パーツの装着は認められる。同時点火への変更も可能。
- ③クラス：プラグやプラグコードを除き一切の変更は認められない。

1-9: 燃料系

燃料タンクの加工、コレクタータンクの装着、安全タンクへの変更はすべて認められない。インジェクター容量や燃料ポンプ吐出量の変更も不可とする。燃料は通常のカソリンスタンドで購入できる製品に限り、レースガスなどの使用は認めない。カソリン添加剤は、市販品に限り使用できる。

1-10: 吸気系

エアクリナーボックスやパイピングの変更が認められる。エアクリナー本体は剥き出し、純正交換のどちらでも構わない。耐熱バンテージや導風板の装着も認められる。

1-11: スロットルボディ

- ①①④クラス：スロットルボディの加工や変更を認める。
- ②③クラス：スロットルボディの加工や流用を含む変更を認めない。

1-12: 排気系

全クラスマフラーの音量を96dB以下とする。通常的一般車検は96dBが合格ラインだが、サーキット内に限り99dBまで可能とする。ただし96dBを超える場合、一般道の走行時はインナーサイレンサーで車検に通る音量まで抑えること。再車検にて確認を行う。
 排ガスについても、レース後の再車検で排ガステスターにて確認を行う。合格ラインは一般車検の値を基準とする。

- ①クラス：触媒の搭載位置も含めて変更可能。ただし、マフラー音量、排気ガスは上記の基準をクリアすること。
- ①クラス：車検適合品であれば、メタルキャタライザー(スポーツ触媒)への変更は可能
- ④クラス：排ガスや音量など、保安基準に適合する範囲内であれば、マフラー/エキマニ/キャタライザーを自由に変更できる。ただし触媒は必ず装着すること。マフラーの出口は後方のみとし、サイド出しは左右を問わず禁止とする。
- ②③クラス：排ガスや音量など、保安基準に適合する範囲内であれば、マフラー(フロントパイプ/センターマフラー/リヤマフラー)に限って変更が認められる。触媒およびエキゾーストマニホールドは純正を使用し、位置の変更や加工はすべて禁止。マフラーの出口は後方のみとする。

1-13: 過給器の取り外し

過給器が付いた車両から過給器を外した、または同型式の自然吸気エンジンに載せ替えた車両での参加を認める。

■足まわりとブレーキ

2-1: ブッシュ類

強化品への変更が認められる。ピロボールも使用できる。

2-2: スプリング

自由長やレートの変更は自由だが、サーキットまでの往復を含む公道走行時は9cm以上の最低地上高が確保されており、縦方向に遊びがない状態でなければならない。
 ※レース中は最低地上高が9cm以上である必要はない。

2-3: ダンパー

倒立式や別タンク式を含めて、変更が認められる。材質は自由で、減衰力を室内から調整するコントローラーも使用できる。